

2023年2月期 第2四半期

決算説明資料

2022年10月14日

古野電気株式会社

注意事項：

本資料に記載されている内容は、公表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣による将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのためさまざまな要素により、記載された見通しと異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、当資料の数値表記は、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表に記載の金額は、表示単位未満を切り捨てて表示し、比率その他の数値は、四捨五入により表示しております。

◆ 売上：微増

- 生産遅延により販売機会が喪失したものの、船用事業の売上は円安の追い風もあり、欧米等海外で増加

◆ 売上総利益：微減

- 部材価格の高騰があるものの、船用事業の売上の増加等により、売上総利益は微減に留まる

◆ 営業利益：減益

- 将来の成長に向けた投資の加速による販管費の増加により減益

◆ 通期業績予想：上方修正

- 部材の入手状況が徐々に改善し、生産活動が回復傾向にあるため、売上・経常利益・当期純利益は上方修正
- 通期の営業利益は部材価格の高騰等と円安による為替影響の相殺により、期初予想を据え置き

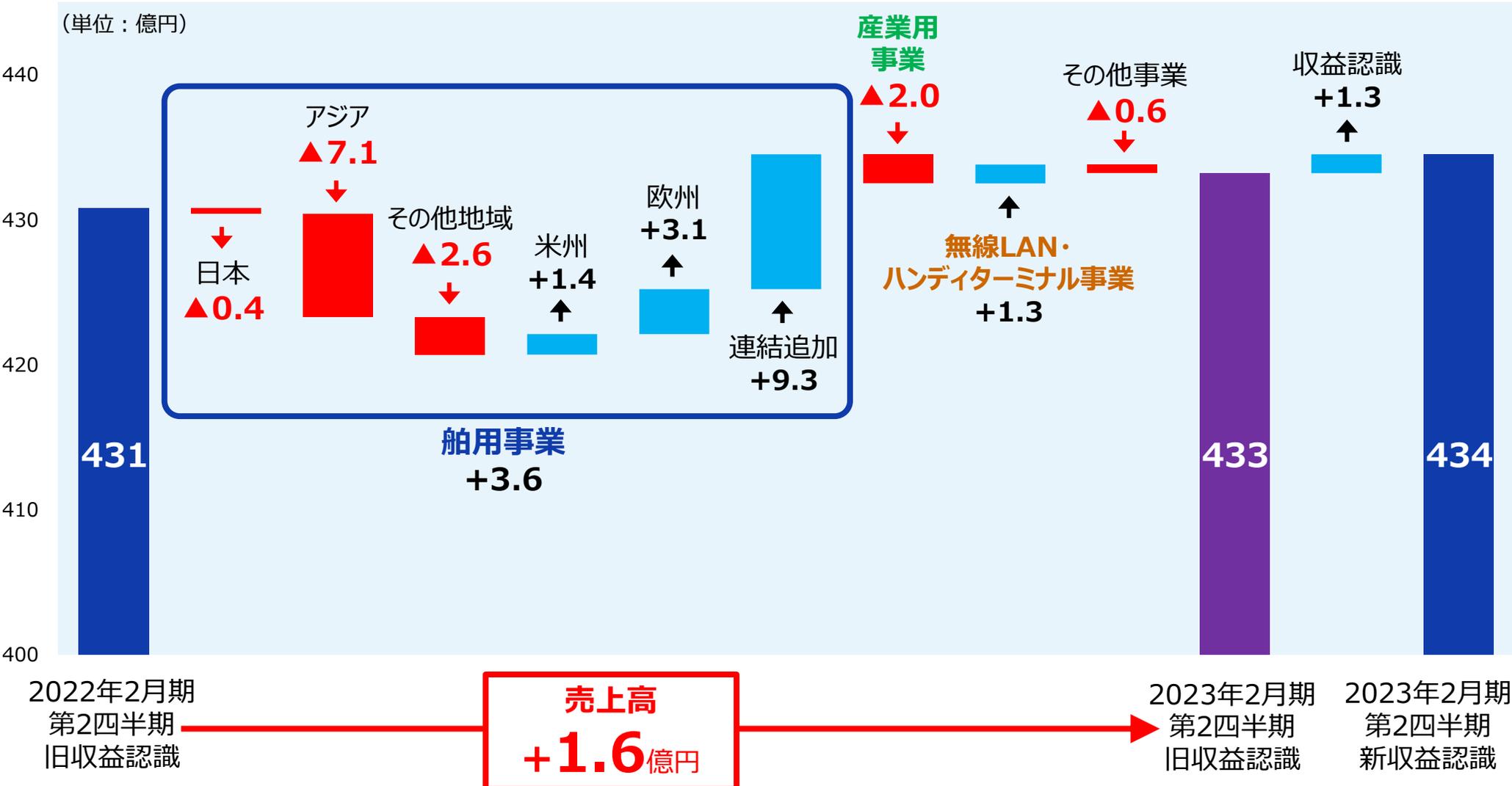
将来の成長に向けた投資の加速により、販管費の増加

旧収益認識

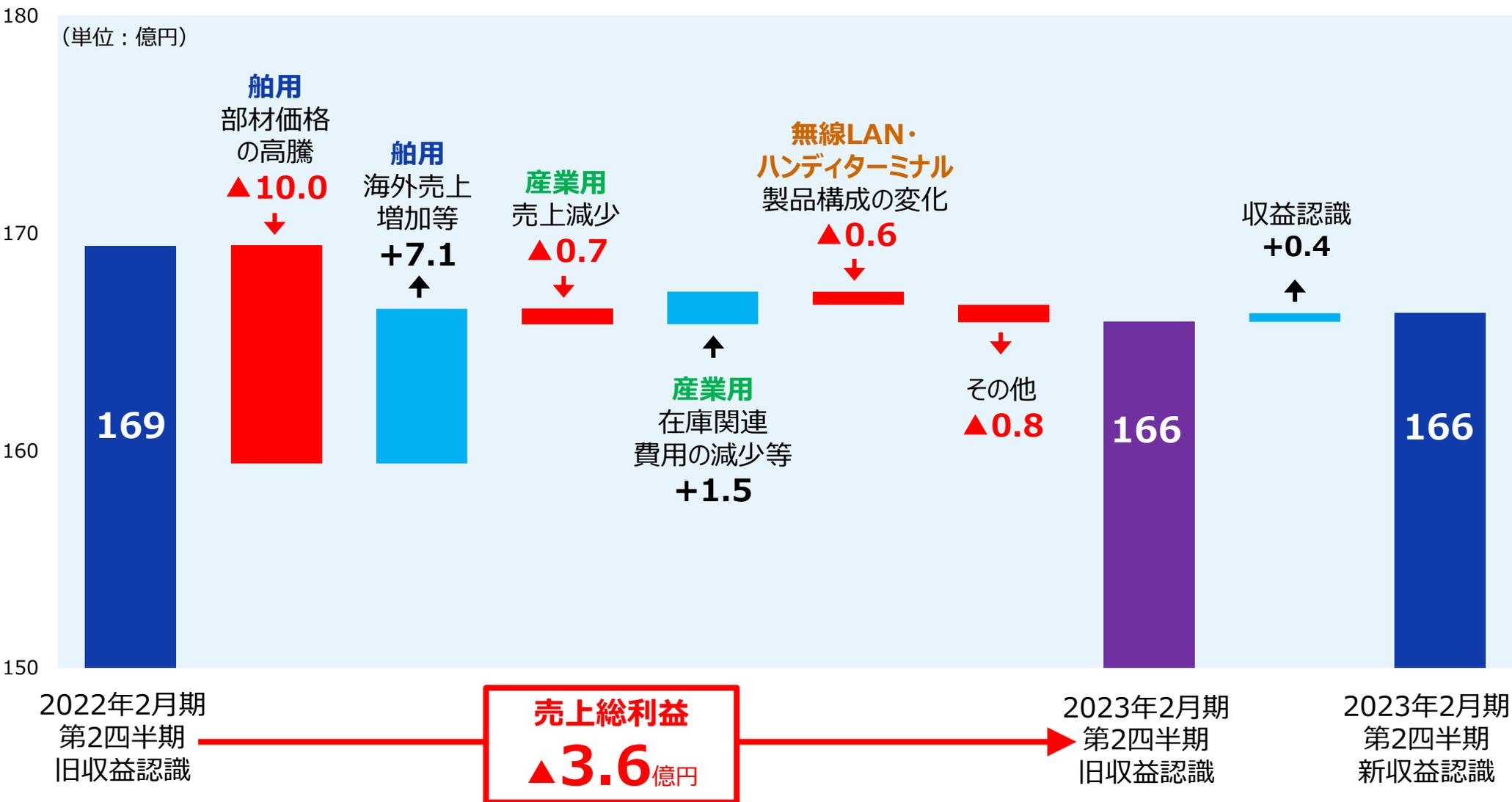
新収益認識

(単位：百万円)	2022年2月期 第2四半期	2023年2月期 第2四半期	増減額	増減比	2023年2月期 第2四半期
売上高	43,139	43,297	+157	+0.4%	43,425
売上総利益 (対売上高比率)	16,923 (39.2%)	16,565 (38.3%)	▲357	▲2.1%	16,606 (38.2%)
営業利益 (対売上高比率)	2,900 (6.7%)	755 (1.7%)	▲2,144	▲73.9%	796 (1.8%)
経常利益 (対売上高比率)	3,283 (7.6%)	1,681 (3.9%)	▲1,601	▲48.8%	1,722 (4.0%)
親会社株主に帰属 する当期純利益 (対売上高比率)	2,844 (6.6%)	1,496 (3.5%)	▲1,347	▲47.4%	1,537 (3.5%)
研究開発費 (対売上高比率)	2,611 (6.1%)	2,604 (6.0%)	▲7	▲0.3%	2,604 (6.0%)
設備投資額 (対売上高比率)	2,256 (5.2%)	1,348 (3.1%)	▲907	▲40.2%	1,348 (3.1%)
減価償却費 (対売上高比率)	1,534 (3.6%)	1,514 (3.5%)	▲19	▲1.3%	1,514 (3.5%)
(単位：円、期中平均レート)					
為替 (対ドル)	107	120	+13	+13.1%	120
為替 (対ユーロ)	130	135	+5	+3.5%	135

船用事業における連結対象海外子会社の追加、欧米を中心に売上増加



部材価格の高騰があるものの、船用事業の海外売上の増加等により微減



引き続き将来の成長に向けた投資を加速

海外開発拠点の拡大に向けた連結対象海外子会社の追加	+4.2
サービス体制と開発力の強化に向けた増員等	+2.8
新分野を含む展示会出展増加等による販促費増加	+2.1
新規事業等の戦略投資金額の増加	+1.4
販売管理費における為替影響	+3.4
業務関連費用の増加	+2.3
その他	+1.8
連結・販売管理費の増加	+17.9

船用事業・連結売上高 (累計・地域別)

(単位：億円)



船用事業：

※ 会計基準変更による影響
【売上高】▲1.6億円 【利益】+0.8億円

売上高 **359**億円 (前年同期比 **+0.4%**)

セグメント利益 **9.8**億円 (▲**17.4**億円)

- 部材入手難に伴う生産遅延により販売機会の喪失
- 円安等も追い風となり、欧米を中心に売上は増加
- サービス体制と開発力の強化等、将来成長に向けた販管費の増加により減益

◆日本：売上高 **102**億円 (▲**1.5%**)

- 官公庁向けの販売は増加したものの、製品供給の制約により漁業向け機器の販売が減少

◆米州：売上高 **44**億円 (+**3.7%**)

- プレジャーボート向け機器の需要は高い水準を維持

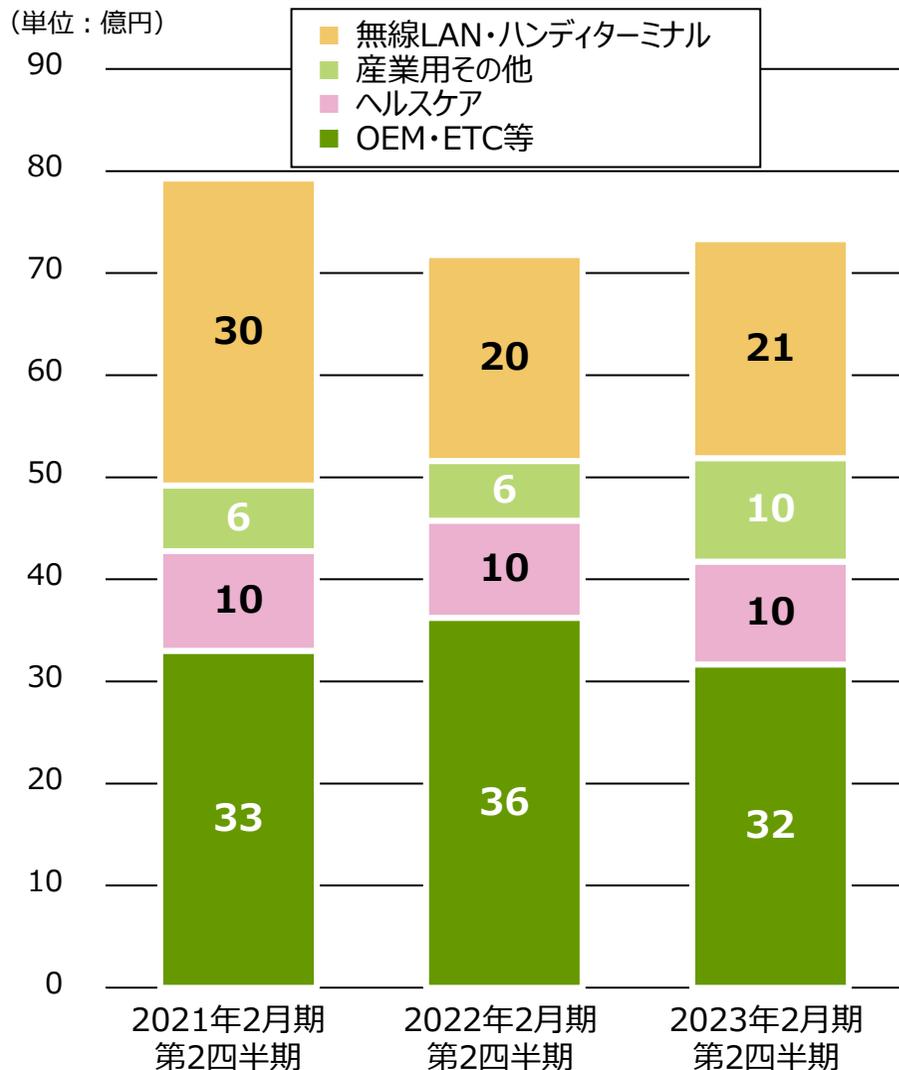
◆欧州：売上高 **108**億円 (+**2.6%**)

- 保守サービスの売上が伸長
- 商船向け、漁業向け、プレジャーボート向けいずれも需要は堅調

◆アジア：売上高 **79**億円 (▲**8.2%**)

- 製品供給の制約により漁業向け機器の販売減少
- 商船向け市場における新造船案件は回復基調

産業用事業、無線LAN・ハンディターミナル事業 連結売上高（累計・製品群別）



産業用事業：

※ 会計基準変更による影響

【売上高】+2.7億円 【利益】▲0.5億円

売上高 **52**億円（前年同期比 **▲0.1%**）

セグメント損失 **0.4**億円（**+1.0**億円）

- 自動車販売台数減少によりETC車載器の販売減少
- OEM受託製品の販売増加
- ヘルスケア事業：生化学分析装置と試薬の販売堅調

◆ OEM・ETC等：売上高 **32**億円（**▲12.6%**）

◆ ヘルスケア事業：売上高 **10**億円（**+5.8%**）

無線LAN事業：

※ 会計基準変更による影響

【売上高】+0.3億円 【利益】+0.2億円

売上高 **21**億円（前年同期比 **+6.3%**）

セグメント利益 **2.9**億円（**▲1.9**億円）

- 無線LANアクセスポイントは文教市場のリプレイス案件向けの販売が回復

部材の入手状況は徐々に改善、生産活動が回復傾向により、上方修正
 通期営業利益は部材価格高騰等と為替影響の相殺により、期初予想を据え置き

(単位：百万円)

	2022年2月期 通期実績	2023年2月期 前回の通期予想	2023年2月期 今回の通期予想
売上高	84,783	82,000	90,000
営業利益 (対売上高比率)	2,532 (3.0%)	2,000 (2.4%)	2,000 (2.2%)
経常利益 (対売上高比率)	3,717 (4.4%)	2,500 (3.0%)	3,000 (3.3%)
親会社株主に帰属 する当期純利益 (対売上高比率)	2,814 (3.3%)	2,000 (2.4%)	2,500 (2.8%)

通期業績予想の修正により、配当予想も修正

(単位：円)

	第2四半期末	期末	年間	連結配当性向
2022年2月期	20	20	40	44.8%
2023年2月期・前回の予想	10	10	20	31.5%
2023年2月期・今回の予想	10	15	25	31.6%

(単位：百万円)	2022年2月期 通期 ※旧収益認識	2023年2月期 第2四半期 ※新収益認識
流動資産 (現金及び預金) (たな卸資産)	62,010 (14,350) (27,693)	71,018 (13,175) (33,797)
固定資産 (有形固定資産) (無形固定資産) (投資その他の資産)	23,963 (13,400) (4,276) (6,286)	24,030 (13,581) (4,140) (6,307)
資産合計	85,973	95,049
流動負債 固定負債	25,023 13,068	29,177 13,010
負債の部合計	38,092	42,188
株主資本 その他 非支配株主持分	48,795 ▲914 0	50,530 1,989 341
純資産の部合計	47,880	52,861
負債純資産合計	85,973	95,049
自己資本比率	55.7%	55.3%

補足：フルノグループの事業概要

古野電気は1948年に世界で初めて魚群探知機の実用化に成功して以来、船用電子機器分野において、その独自の超音波技術と電子技術をもとに数々の世界初・日本初の商品を提供し続けてきました。そして今日、世界80カ国以上に販売拠点を有し、世界規模の船用電子機器総合メーカーとして確固たる地位とブランドを築いてきました。

2022年2月28日現在



西宮本社



新研究開発棟 SOUTH WING

社名	古野電気株式会社
本社所在地	兵庫県西宮市
設立	1951年(昭和26年)
事業内容	船用電子機器および産業用電子機器などの製造・販売
資本金	7,534 百万円
従業員(連結)	3,065 名
売上高(連結)	84,783 百万円
代表者	古野 幸男
上場取引所*	東京証券取引所 プライム市場

*：2022年4月4日現在

IR情報サイト ⇒ <https://www.furuno.co.jp/ir/>

製品情報サイト ⇒ <https://www.furuno.com/>

企業ブランドサイト ⇒ <https://www.furuno.com/special/jp/corporatemovie/>

安全安心・快適、 人と環境に優しい社会・航海の実現



商船向け事業



レーダー



ECDIS
(電子海図情報表示システム)



衛星通信装置

漁業向け事業



ソナー



魚群探知機



潮流計

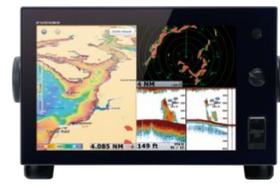


無線機器

プレジャーボート向け事業



レーダー



ネットワーク対応航海機器



GPSプロッタ魚探



オートパイロット

OEM・ETC等



ETC2.0/ETC車載器



ETC車両
管理ソリューション



GPS (GNSS)
チップ・モジュール

ヘルスケア事業



生化学自動分析装置・試薬



超音波骨密度測定装置

無線LAN・ハンディターミナル事業



無線LANアクセスポイント



無線ハンディターミナル

